



# 東京医療保健大学

## 感染制御学教育研究センター

### 感染制御実践看護学講座

# 令和7年度 受講生募集案内

《現職業務を継続しながらの受講が可能》

感染対策向上加算の要件となる担当看護師の養成講座

東京医療保健大学 感染制御学教育研究センター「感染制御実践看護学講座」は、感染対策向上加算の施設基準のひとつである「適切な研修」として、厚生労働省より認められております。本講座修了生には、修了証を授与すると共に、感染制御実践看護師の認定証を付与します。

### 「感染制御実践看護学講座」募集概要

募集人員：20名

受講料：770,000円（保険料別途）前納一括払い

（その他講座開講中に発生する教材費等については別途徴収する場合があります）

出願期間：令和6年11月1日（金）～11月30日（土）必着

試験日：令和6年12月21日（土）実施

試験方法：筆記（択一式）、面接

合格発表：令和6年12月24日（火）

開講日：令和7年4月18日（金）（講義、実習等 約6ヶ月間）

問合せ先：東京医療保健大学 感染制御学教育研究センター

「感染制御実践看護学講座」事務局

〒141-8648 東京都品川区東五反田4-1-17

電話：03-5421-7685

E-mail: kansenkouza@thcu.ac.jp

詳細は本学ホームページをご覧ください。<http://thcu.ac.jp/>

※日程は変更になる可能性があります。

## 感染制御実践看護学講座

感染制御実践看護師育成を目的とし、現在勤務している自施設の業務を継続しながら受講できる教育カリキュラム（週末講義、集中講義、指定施設実習、自施設実習、演習、課題レポートの提出など）を編成しています。また、講義は原則対面で行われますが、講義以外は、担当教員がWeb会議システム等を活用し、きめ細やかな個別指導が行われます。

### ■施設実習（指定施設・自施設）

指定施設実習は、感染制御を先鋭的に実践している施設において1週間の実習を行います。自施設実習は、指定施設実習での経験をもとに、自施設の現有組織を活用し日常活動を重視した実習を6週間実施します。

### ■講座修了時

本講座修了試験に合格した看護師には、東京医療保健大学感染制御学教育研究センターから、「感染制御実践看護学講座」の修了証を授与すると共に、認定感染制御実践看護師(Certified Professional Nurse for Infection Prevention and Control/PNIPC)の認定証を付与します。

### ■修了生へのフォローアップ体制

本講座修了生へは、「フォローアップ研修会」を原則年1回開催し、日々の実践の振り返りとサポートを行います。

## 修了生からのメッセージ

萩原 昇治

安曇野赤十字病院（長野県 安曇野市）勤務 令和2年度修了生



私は手術室の感染防止委員として、手術部位感染対策や洗浄・滅菌業務に携わっていました。そのような中2019年8月、看護部長より感染制御実践看護学講座を勧められ受講しました。本講座は働きながら勉強できること、自施設の課題について実習を通して取り組めることが魅力的だと感じました。

しかし、2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、開校は半年延期となり、講義も一部遠隔で行うことになりました。

慣れない遠隔講義でしたが、感染対策専門家の方々の貴重な講義に、新たな知識を得る喜びは大きかったです。特に感染症学や臨床微生物学は難しい内容でしたが、臨床現場と結びつけながら知識を整理することができました。対面講義では医療関連感染サーベイランスの演習や微生物実験等、受講生同士のグループワークも行うことができ、皆で話し合い結論を導き出すマネジメント力を学ぶことができました。

COVID-19対応中の自施設実習は、計画を適宜変更しながらの6週間でした。日々刻々と変化する臨床現場に合わせて計画を変更することも、より良く修正していくための方法として学ぶことができました。

感染対策を厳しく講じながらの受講は容易ではありませんでしたが、COVID-19パンデミックの最中に全国各地の仲間と一緒に本講座を受講できたことは、私にとってかけがえのない財産であり、励みとなっています。



リンクナースとして務める中で、自施設内の課題を感じながらも自分自身の知識不足から発言にも自信が持てずにいました。そんな中、既に修了された当院協会内の先輩 ICN より「感染制御実践看護学講座」をご紹介いただき、受講を希望させていただきました。

講義では基礎的な知識はもちろんですが、第一線で活躍されている多くの先生方の最新の知識やノウハウを学ぶことができ大変貴重な時間を過ごすことができました。そして先生方のアドバイスを受けながら自施設実習を行えたことで、悩みながらも自施設の課題に向き合い自分自身の活動を考え見直すこともできました。また、指定施設実習をさせていただき、自施設以外での取り組みや先輩 ICN の意見を聞くことができ視野が広がりました。

私が受講した年はちょうどオリンピック目前でパンデミック対応も視野に入れてはいましたが講義修了後のその年、オリンピックを迎える前に COVID-19 が世界的に流行しました。

新人ながら自施設の対応に追われましたが、講義の中で先生方から学んだこと 1 つ 1 つが糧になり自分を強く成長させてもらえた実感しております。

働きながらの受講は大変な思いもありましたが、共に悩みながら切磋琢磨できる仲間の存在と本講座で学んだ貴重な時間は感染制御実践看護師としてこれからも私を鼓舞してくれる大切な宝物となりました。



私は、感染対策委員会のメンバーとして、日常の業務と兼務しながら、院内の感染制御の活動を行っていました。活動の中で、アウトブレイクを経験し、私自身の知識、判断力、行動力の不足を痛感し、自信を無くしていました。そんな時に看護部長から「感染制御実践看護学講座」を紹介して頂き、受講を決意させていただきました。

講座の講義は、専門的でレベルの高さを感じる内容もありますが、講義の一つ一つが、知識を積み重ねる機会となりました。そして、積み重ねたものが、自施設実習の場面で実際に展開をすることに繋がっていきます。特に自施設実習は、自施設の感染制御の問題や課題を明確にすることができました。その問題や課題を解決するために何をすべきか、先生方にご指導を頂きながら自施設で展開ができることは、とても有意義なプロセスとなりました。講座修了後の現在においても、自施設実習での経験が道筋となり、現在も継続して取り組んでいます。

受講前は、自信を無くしていた私も、自施設実習が終盤を迎えた頃、同僚から「たくましくなった」と声を掛けられました。講座を通じて、少しずつ自信を持つことができ、私自身成長をすることができたと思っています。これからも、「感染制御実践看護学講座」での学びが、私の感染制御の礎になっていくと思います。



私はリンクナースを数年勤めていましたがそれ程熱心に活動していた訳ではなく、おそらくクラスの中で一番経験が浅く知識も乏しかったのではないかと思います。しかし、感染制御の先駆者である一流の講師陣による講義はとても刺激的で、私はすぐに感染制御の世界に引き込まれました。

現在、私は精神科病院に勤めています。病室に擦式手指消毒剤を置けなかったり、インフルエンザに罹患してもマスクを着けずに部屋から患者が出てきたりと必ずしも教科書通りの対策が取れるとは限りません。臨床での感染制御に

は知識をもとにした思考力が求められます。

本講座における最新の知見と実践を重視した講義は臨床での感染制御活動に必要な「知識」と「思考力」を身に付けるにはまさにうってつけでした。

「学んで思わざれば即（すなわ）ち罔（くら）し。思うて学ばざれば即（すなわ）ち殆（あやう）し。」

知識や情報を得ても思考しなければ、どう活かせばいいのかわからない。逆に、思考するばかりで知識や情報がなければ、独善的になってしまう。本講座で得た「知識」と「思考力」は感染専従看護師として活動するうえでの羅針盤となるでしょう。

また何より半年間苦楽を共にした仲間との出会いと絆は私のかけがえのない財産となり、私を大きく成長させてくれました。是非、本講座で感染制御の本質を学び、そして最高の仲間を見つけてください。

石幡 理絵 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター愛育病院（東京都 港区）勤務  
平成 26 年度修了生



私は看護部の委員会活動で感染対策を担当していましたが、院内で感染制御活動をしていくなかで力不足を感じていました。すでに感染制御実践看護学講座を修了した当院の師長から評判を聞いていたこともあり、自分のステップアップになると考え本講座の受講を希望しました。

働きながら勉強できることに加え、自施設の問題を見つめ直して課題を見つけ、その課題について実習し、実際に改善に向けて活動ができることが本講座の一番の魅力だと思います。基礎から素晴らしい先生方に教えていただくことができ、学んだ多くのことをすぐ自施設実習で活かすことができる環境は本当に恵まれていました。そしてひとりひとりに大変丁寧な指導をしてくださり、感謝しております。

また色々な場所から集まった一緒に学んだ仲間とは現在も連絡を取り合い、相談したり情報交換したりしています。そのような仲間と出会えたことも素晴らしい財産となりました。

目的意識を持って学べたこの6ヶ月間は大変有意義なものでした。修了した今も、講座で立案した感染制御プログラムに沿って活動を継続したり、分からないことなどは授業の資料を引っ張り出して確認したりしています。この6ヶ月間は大変でしたが、自分の感染制御を考える力を養うことができたこと強く感じます。

東京医療保健大学 感染制御学教育研究センター「感染制御実践看護学講座」事務局

〒141-8648 東京都品川区東五反田 4-1-17

五反田駅から徒歩8分（JR山手線、東急池上線、都営浅草線）

TEL : 03-5421-7685 E-mail : kansenkouza@thcu.ac.jp URL : <http://www.thcu.ac.jp>

